

白糠高校 魅力化 プロジェクト vol.2

■『笑顔輝くまち・白糠町』 唯一の高校として

かつて700人を超える生徒数を誇った白糠高校ですが、現在、新入生27人を加えた全校生徒は63人となっています。

生徒数は少なくなりましたが、『笑顔輝くまち・白糠町』にある唯一の高校として、また、地域の活性化を図る上でも、これからも永く存続してほしいと願っています。

■白糠高校の 魅力アップを図る

白糠高校魅力化プロジェクトでは、そうした願いに込めるべく、白糠高校と町が力を合わせ、それぞれ「白糠高校の魅力アップ」を

図るための努力を行っています。

■「地域とともに歩む学校」 を目指す白糠高校

白糠高校では、「地域とともに歩む学校」を目指し、次の四つの取組を行っています。

①環境鮮麗学など、学校の独自科目を設定し、地域課題である環境問題の学びに取り組みでいます。



環境鮮麗学の授業では、体験型の学習を多く取り入れています

②学校運営協議会を設置し、地域と学校が手をつなぐ高校（コミュニティースクール）づくりを行っています。

③高校の授業を応援する白糠高校地域協働応援団（白糠高校応援コンソーシアム）の支援の下、「地域学校協働授業」を行っています。

④少人数の良さを生かした「個に応じた進学・就職対策指導」を行い、進学・就職率100%を達成しています。

■町をあげて白糠高校を応援

白糠町は、町を挙げて白糠高校を応援するため、次の五つの支援を行っています。

①高校内に生徒が無料で受講できる学習塾「久遠塾」を設置し運営しています。13時から20時まで、進路希望に合わせて利用することが出来ます。

②全国から生徒を募集する「地域みらい留学事業」への参画と、学生寮「からまつ寮」を設置し運営しています。

③大学・短大の授業料を賄うため

の、返済しなくてもよい「給付型奨学金」（毎月3万円、成績条件および人数制限あり）制度があります。

④一般的に高校は弁当持参ですが給食が無償提供されています。（年額5万円程度相当）

⑤一般的には生徒各自による準備が必要な「学習用タブレット」について白糠高校では、全生徒に一台ずつ無償貸与されています。

これまでの白糠高校魅力化の成果の一つとして、新入学生徒数の推移を次のとおり掲載します。

- ・令和2年4月入学 22人（うち町内14人）
- ・令和3年4月入学 26人（うち町内11人）
- ・令和4年4月入学 18人（うち町内9人）
- ・令和5年4月入学 23人（うち町内12人）
- ・令和6年4月入学 27人（うち町内15人）

（地域教育コーディネーター 庄子）

◆久遠塾は9月号に掲載します◆